



2025年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社デジタルプラス 上場取引所 東
コード番号 3691 URL <https://digital-plus.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 菊池 誠晃
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO兼グループ本部長（氏名） 加藤 涼（TEL）03-5465-0690
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年9月期第3四半期	653	5.6	△42	—	△62	—	△100	—	△100	—	△100	—
2024年9月期第3四半期	619	29.4	56	—	98	—	66	—	23	—	44	—

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2025年9月期第3四半期	△23	68	△23	68
2024年9月期第3四半期	6	42	6	42

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	2,942	895	807	27.5
2024年9月期	2,335	817	720	30.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—		
2025年9月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益	
	百万円	％	百万円	％
通期	897～959	7.0～14.4	7～27	△87.5～△46.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一 、 除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年9月期3Q	4,446,867株	2024年9月期	4,122,100株
2025年9月期3Q	100,206株	2024年9月期	100,169株
2025年9月期3Q	4,227,601株	2024年9月期3Q	3,646,618株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社グループが現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(事業セグメント)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の子会社）が判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年10月1日～2025年6月30日）におけるわが国の経済は、賃上げの継続や設備投資の増加により堅調な回復を維持している一方で、世界的なインフレ圧力や金利動向への懸念が高まり、企業収益や個人消費への影響が注視される状況となりました。また、米中関係や資源価格の変動等、海外要因による下振れリスクも継続しており、依然として経済の先行きに不透明感をもたらしております。引き続き、人口減少を背景に労働生産性の向上を図っていくことが課題となっております。

当社グループの注力事業であるフィンテック領域においては、デジタル化の更なる進展とともに、企業のDX推進需要の高まりを背景に市場拡大が継続し、決済サービスの多様化や利便性向上への期待が一層高まっております。

このような状況において、当社グループは、デジタルギフト®や株主優待ギフトを中心に展開する「フィンテック事業」を主軸とし、並行してメディア運営を行う「デジタルマーケティング事業」も展開しております。

フィンテック事業においては、従来から運営しているデジタルギフト®に加え、株主優待を主要サービスと位置づけ、本格的に注力を始めております。当社グループはマーケティング(広告)領域・人材領域・支払のDX(金融)領域の3つの領域を注力領域としてあげており、3万円以下の対個人向け支払でのシェア拡大を目指し邁進しております。当期間においては、2025年6月25日付で第二種資金移動業者の登録完了したことにより、報酬などの役務提供や中古品買取金など今まで対応できなかった対価性のある支払いができるようになり、当社グループの事業優位性がより一層強化されました。

デジタルマーケティング事業においては、2025年6月30日付で金融メディア「ファイナンシャルプラス」事業の譲渡契約を締結しました。

当連結会計年度においても、フィンテック事業を中核とし、2027年9月期に掲げている流通総額1,000億円の達成に向け、本資金移動業取得等を通じて事業推進を加速させてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上収益は653,557千円（前年同四半期比5.6%増）、営業損失は42,255千円（前年同四半期営業利益は56,837千円）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は100,128千円（前年同四半期親会社の所有者に帰属する四半期利益は23,410千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下の通りであります。

a. フィンテック事業

国内のキャッシュレス化の浸透、在宅ワークの拡大、副業解禁などにより個人の稼ぎ方がより多様化する社会的背景の中で、現金以上に価値のあるポイントが利用できる報酬支払インフラの構築を目指して事業を運営してまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、デジタルギフト®及びデジタルウォレットにおいて、これまでの成長基盤をさらに強化し、顧客基盤の拡大とサービス利用の活性化に注力いたしました。前四半期対比112%と力強い成長を示し、流通総額が約34億円に到達しました。今後も事業間シナジーにより更なるサービス強化を推進してまいります。

以上の結果、フィンテック事業の売上収益は573,987千円（前年同四半期比27.6%増）、セグメント利益は206,392千円（前年同四半期比51.7%増）となりました。

b. デジタルマーケティング事業

既存事業であるメディア運営を展開しております。

以上の結果、デジタルマーケティング事業の売上収益は79,570千円（前年同四半期比53.0%減）、セグメント利益24,223千円（前年同四半期比82.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、696,386千円増加し、2,293,629千円となりました。これは主として、営業債権及びその他の債権が349,617千円増加、および現金及び現金同等物が242,396千円増加したことによるものであります。

非流動資産は、前連結会計年度末に比べて、89,406千円減少し、649,120千円となりました。これは主として、のれんが177,455千円減少、使用権資産が47,088千円増加、及び無形資産が61,162千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて、606,980千円増加し、2,942,750千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、455,783千円増加し、1,852,157千円となりました。これは主として、その他の流動負債が290,309千円増加したものであります。

非流動負債は、前連結会計年度末に比べて、72,601千円増加し、194,908千円となりました。これは主として、借入金が53,322千円増加したものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、528,385千円増加し、2,047,066千円となりました。

(資本)

資本合計は、前連結会計年度末に比べて、78,594千円増加し、895,684千円となりました。これは主として、利益剰余金が1,382,091千円増加、資本剰余金が1,178,793千円減少、資本金が115,489千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ242,396千円増加し、1,043,614千円(前年同四半期514,667千円増)となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は221,235千円(前年同四半期は8,525千円の収入)となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権の増加349,407千円、その他の負債の増加282,743千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は73,102千円(前年同四半期は140,795千円の支出)となりました。これは主に、事業譲渡による収入140,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は390,399千円(前年同四半期は215,696千円の収入)となりました。これは主に、短期借入の純増額248,803千円、長期借入による収入200,000千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、本日(2025年8月14日)公表の「デジマ支援事業及びメディアの売却による通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	801,217	1,043,614
営業債権及びその他の債権	707,029	1,056,646
棚卸資産	35,095	95,876
未収法人所得税	3	8,837
その他の金融資産	—	20,000
その他の流動資産	53,898	68,653
流動資産合計	1,597,243	2,293,629
非流動資産		
有形固定資産	4,808	16,448
使用権資産	18,799	65,887
のれん	373,967	196,512
無形資産	166,216	227,379
その他の金融資産	130,617	100,541
繰延税金資産	43,586	42,181
その他の非流動資産	531	168
非流動資産合計	738,527	649,120
資産合計	2,335,770	2,942,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	290,233	276,599
社債及び借入金	655,808	840,008
未払法人所得税	32,037	21,935
引当金	3,116	—
リース負債	23,455	32,183
その他の金融負債	600	—
その他の流動負債	391,121	681,431
流動負債合計	1,396,373	1,852,157
非流動負債		
借入金	90,000	143,322
引当金	17,013	17,013
リース負債	12,472	31,680
繰延税金負債	2,220	2,293
その他の金融負債	600	600
非流動負債合計	122,306	194,908
負債合計	1,518,680	2,047,066
資本		
資本金	125,489	10,000
資本剰余金	1,841,222	662,428
利益剰余金	△1,063,077	319,013
自己株式	△81,982	△82,012
その他の資本の構成要素	△101,374	△101,632
親会社の所有者に帰属する持分合計	720,277	807,796
非支配持分	96,812	87,888
資本合計	817,090	895,684
負債及び資本合計	2,335,770	2,942,750

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上収益	619,075	653,557
売上原価	90,498	142,142
売上総利益	528,577	511,414
販売費及び一般管理費	528,824	586,485
その他の収益	64,156	50,512
その他の費用	7,072	17,696
営業利益(△損失)	56,837	△42,255
金融収益	53,285	2,808
金融費用	11,553	23,024
税引前四半期利益(△損失)	98,569	△62,471
法人所得税費用	32,412	38,251
四半期利益(△損失)	66,156	△100,722
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	23,410	△100,128
非支配持分	42,745	△594
四半期利益(△損失)	66,156	△100,722
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△損失) (円)	6.42	△23.68
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失) (円)	6.42	△23.68

要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期利益(△損失)	66,156	△100,722
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品	△21,366	△258
その他の包括利益合計	△21,366	△258
四半期包括利益	44,790	△100,980
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,044	△100,386
非支配持分	42,745	△594
四半期包括利益	44,790	△100,980

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2023年10月1日残高	10,576	1,733,887	△1,084,249	△81,982	△87,899	490,333	35,484	525,817
四半期利益(△損失)	—	—	23,410	—	—	23,410	42,745	66,156
その他の包括利益	—	—	—	—	△21,366	△21,366	—	△21,366
四半期包括利益	—	—	23,410	—	△21,366	2,044	42,745	44,790
新株の発行	49,950	45,823	—	—	—	95,774	—	95,774
所有者との取引額等合計	49,950	45,823	—	—	—	95,774	—	95,774
2024年6月30日残高	60,526	1,779,711	△1,060,838	△81,982	△109,266	588,151	78,230	666,382

当第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	合計		
2024年10月1日残高	125,489	1,841,222	△1,063,077	△81,982	△101,374	720,277	96,812	817,090
四半期利益(△損失)	—	—	△100,128	—	—	△100,128	△594	△100,722
その他の包括利益	—	—	—	—	△258	△258	—	△258
四半期包括利益	—	—	△100,128	—	△258	△100,386	△594	△100,980
減資	△210,629	210,629	—	—	—	—	—	—
資本剰余金から利益剰余金への振替	—	△1,482,219	1,482,219	—	—	—	—	—
新株予約権の取得及び消却	—	△755	—	—	—	△755	—	△755
新株予約権の行使	70,139	68,552	—	—	—	138,691	—	138,691
非支配持分への支払配当金	—	—	—	—	—	—	△8,330	△8,330
転換社債型新株予約権付社債の株式への転換	25,000	25,000	—	—	—	50,000	—	50,000
自己株式の取得	—	—	—	△30	—	△30	—	△30
所有者との取引額等合計	△115,489	△1,178,793	1,482,219	△30	—	187,905	△8,330	179,575
2025年6月30日残高	10,000	662,428	319,013	△82,012	△101,632	807,796	87,888	895,684

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	98,569	△62,471
減価償却費及び償却費	29,376	29,126
減損損失	—	17,455
金融収益及び金融費用	△41,716	20,215
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,668	△60,781
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△188,345	△349,407
その他の資産の増減額 (△は増加)	△32,996	△6,278
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	27,785	△17,542
その他の負債の増減額 (△は減少)	125,988	282,743
引当金の増減額 (△は減少)	△4,529	△3,116
小計	18,799	△150,055
利息の受取額	508	2,562
利息の支払額	△4,357	△18,158
法人所得税の支払額	△7,678	△55,586
法人所得税の還付額	1,252	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,525	△221,235
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△322	△13,248
無形資産の取得による支出	△60,473	△82,807
条件付対価の決済による支出	△80,000	—
事業譲渡による収入	—	140,000
投資事業組合からの分配による収入	—	158
その他の金融資産の取得による支出	—	△1,000
敷金及び保証金の回収による収入	—	30,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,795	73,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	145,500	248,803
長期借入れによる収入	130,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△97,213	△164,174
リース負債の返済による支出	△19,425	△23,852
株式の発行による収入	99,900	—
株式発行費用の支出	△3,065	—
自己株式の取得による支出	—	△30
新株予約権の取得による支出	—	△755
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	138,738
社債の償還による支出	△40,000	—
非支配持分への配当金の支払額	—	△8,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	215,696	390,399
現金及び現金同等物の為替変動による影響	753	130
現金及び現金同等物の増減額	84,179	242,396
現金及び現金同等物の期首残高	444,767	801,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	528,946	1,043,614

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(事業セグメント)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはサービス別の事業部を基礎としたサービス別セグメントから構成されており、「フィンテック事業」「デジタルマーケティング事業」の2つを報告セグメントとしております。

各事業の概要は以下のとおりであります。

フィンテック事業：「デジタルウォレット」、「デジタルギフト®」、「メンタルヘルス「マヒナ」の運営、オンライン家庭教師「ピース」の運営、システム基盤の基礎技術の発展、ビットコインで用いられているブロックチェーン等の新技術の応用、投資などの金融領域への事業展開、ファクタリング

デジタルマーケティング事業：オウンドメディアの運営、アライアンス・メディアの運営、

(2) 報告セグメントの情報

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりであります。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
	フィンテック 事業	デジタルマーケ ティング事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	449,732	169,342	619,075	—	619,075
セグメント間の売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—
合計	449,732	169,342	619,075	—	619,075
セグメント利益	136,092	138,215	274,307	△217,470	56,837
金融収益	—	—	—	—	53,285
金融費用	—	—	—	—	11,553
税引前四半期利益	—	—	—	—	98,569

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
	フィンテック 事業	デジタルマーケ ティング事業	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	573,987	79,570	653,557	—	653,557
セグメント間の売上収益 又は振替高	—	—	—	—	—
合計	573,987	79,570	653,557	—	653,557
セグメント利益 (△損失)	206,392	24,223	230,616	△272,872	△42,255
金融収益	—	—	—	—	2,808
金融費用	—	—	—	—	23,024
税引前四半期損失 (△)	—	—	—	—	△62,471

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、要約四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(事業の譲渡)

当社は、2025年6月30日開催の取締役会において、株式会社FUNDiT Media Mergersに対し、デジタルマーケティング事業が運営する「ファイナンシャルプラス」を譲渡することについて決議し、同日付で事業譲渡契約を締結し、2025年7月1日に事業譲渡を完了いたしました。

(1)事業譲渡の理由

当社グループは、フィンテック事業を注力事業と位置づけ、積極的に経営資源を投下しております。そして、2025年6月25日の第二種資金移動業登録の完了により、2027年9月期に掲げている流通総額1,000億の実現に向けて更なる事業進捗を加速化しております。

このような環境を踏まえ、グループ全体としてフィンテック事業へ一本化していくことを決断し、デジタルマーケティング事業が運営する金融メディア「ファイナンシャルプラス」を譲渡することを決定いたしました。

(2)譲渡した相手先の名称

株式会社FUNDiT Media Mergers

(3)譲渡した事業

デジタルマーケティング事業「ファイナンシャルプラス」

(4)譲渡日

2025年7月1日

(5)損益に与える影響

当該事象により、2025年9月期の連結損益計算書において、事業譲渡益15,000千円をその他の収益として計上する予定であります。